

## ■ 10代の被災体験記

### 『子どもたちの3.11 東日本大震災を忘れない』

(Create Media 編／学事出版・刊) 発売と関連イベント

新刊書籍『子どもたちの3.11 東日本大震災を忘れない』(1575円※税込)は、岩手・宮城・福島・茨城の10代の44名が1000年に一度の大震災を生き延びた体験を執筆した「被災体験記」集です(※目次は[コチラ](#))。

今回の大震災を通じて、「子ども視点」による防災が教育現場や防災行政の中で盛んに論じられ、今年から東京都ではすべての都立高校で1泊2日の防災教育を実施。

実際、大人が胸まで浸かる津波の高さでは、子どもは死んでしまいます。

大人にとって常識的な避難所までのルートも、子どもの足ではたどりつけません。

本書は、そうした「子ども視点」による防災の知恵が詰まった貴重な記録です。

(※本書は被災者の自立支援事業として企画され、初版印税から10代各自に1万円ずつ支払われます)

### ★4月27日(金) 足立区の青井高校 都立高校初の防災合宿

午後7時30分から1時間、『子どもたちの3.11～』を企画・編集し、ライター・今一生による講演あり。被災当時及び現在の被災地の状況、被災地でのボランティア、高校生が社会貢献できる活動などについて、取材と『子どもたちの3.11～』の内容から解説(※高校関係者・取材関係者しか入れません)。

### ★4月28日(土) 新宿ロフトプラスワン 被災地支援を「継続」させるために

午後1時から『被災地のいま～瓦礫と除染から“キズナ”が見える?～』と題したトークイベント(※『子どもたちの3.11～』の即売あり)。1年以上が経ったいま、「被災地」と呼ばれる東北の現状は? 出演:奥本秀樹(福島大学経済経営学類准教授)／伊知地亮(NPO オンザロード事務局長)／今一生  
<http://www.loft-prj.co.jp/PLUSONE/access.html>

### ★5月4日(金・祝) 谷中ボッサ 被災地を撮り続けた写真展とトークイベント

震災直後から宮城県石巻市などで支援活動をしているカメラマン・大川砂由里と、フリーライター・今一生が、被災地の復興について語り合う公開対談(※『子どもたちの3.11～』の即売あり)。  
<http://www.createmedia.co.jp/img/2012-0504.pdf>

